

IT'S TIME TO...

GO GLOBAL!

AT SHIZUOKA

JOHOKU HIGH SCHOOL

静岡城北高校
グローバル科




STEP INTO THE WORLD...

WOW!
AMAZING!



REACH FOR YOUR FULL POTENTIAL...

ENGLISH COMMUNICATION

中 国 語
英 文 法



TACKLE NEW CHALLENGES, WITH NEW FRIENDS...



PREPARE FOR AN EXCITING FUTURE...

CHECK US OUT!






海外異文化体験

福島県にある British Hills（パスポートのいらない英国）で4日間の異文化体験と語学研修を体験しました。使用言語は英語のみ、スタッフも全員ネイティブスピーカーです。宿泊体験を通じて、英国の文化・マナーに触れながら活きた英語を学び、異文化への興味を高めました。コロナ禍でも充実した研修ができました。

従来は、2年次の夏休みに15日間のオーストラリア海外異文化体験を実施し、交流校関係にある Upper Coomera State College 等において現地の生徒やホームステイ先のホストファミリーと交流を深めています。



シズオカ・ガイドツアー

静岡の魅力英語で発信するプロジェクト。東京で暮らす外国人留学生を静岡に招き、留学生1人につき生徒数人でグループを作り、久能山東照宮、いちご狩り、清水港、静岡浅間神社、日本平、登呂遺跡、大井川鉄道沿線など、静岡の名所を英語で案内するツアー。

行先やランチ選びなど全て生徒による企画。2日目は全員で富士宮の富士山世界遺産センターにて研修し、親交も深めました。帰校後には2日間の各グループの活動報告会を英語で実施しました。



モンゴルにランドセルを贈る

静岡県とモンゴル国ドルノゴビ県の友好提携 10 周年を記念して、様々な理由でランドセルを購入できないモンゴルの子どもたちを支援しようと、生徒会が中心となり全校生徒に呼び掛けたところ、たった3日間で118個ものランドセルが集まりました。国際科の生徒がモンゴルの中高生とオンラインで交流を深めました。

グローバル科（国際科）の取組により、全校生徒のグローバルな意識も高まります。

写真上左 生徒会本部が全校生徒に呼びかけ、ランドセルを集めました。

写真上中 集まったランドセルを丁寧に箱詰めして、モンゴルに送りました。

写真上右 モンゴルの小学生に届いたランドセル。うれしそうな笑顔が印象的です。

写真下 モンゴルの高校生と大画面でのオンラインライブ交流。SDGs「海の豊かさ」「陸の豊かさ」をテーマに英語を使って意見交換しました。



重油流出から美しい海を守る募金活動



商船三井グローバルセミナー「海運業の世界」



モーリシャスの高校生とのオンライン交流



モーリシャスの高校生から届いたポストカード

モーリシャスの美しい海を守る

2020年7月25日、インド洋の島国モーリシャス沖で株式会社商船三井が運航する貨物船が座礁しました。貨物船の重油タンクが破損したことで、積載していたおよそ4,000トンの重油のうち、約1,000トンが海に流出しました。このことを知った本校生徒たちが、静岡駅等で募金活動をしました。

また、東京五輪・パラリンピックで静岡市がモーリシャスのホストタウンを務めた縁で、本校生徒と現地の高校生とSDGsの「海の豊かさを守ろう」をテーマにオンライン交流をしました。

さらに、重油流出事故支援を機に商船三井ともつながり、グローバルな場で活躍する大型船の船長や乗組員の皆様から「海運業の世界」「海外で働くことの楽しさ」について講話いただきました。



1年生サマーセミナー

ALTの先生たちと



3日間の集中研修

私がグローバル科を選んだ理由

Kokoro Hamamatsu

濱松心咲さん（1年生）

静岡市立清水第一中学校出身 英語部

私は小学校1年生から英会話に通い始め、ずっと英語が好きでした。私が志望校を選択する時も、とにかく自分自身の英語力を高めたい！という気持ちが1番で静岡城北高校のグローバル科を志望することを決めました。入学前は、周りのクラスメイトは英語がペラペラなのかな、帰りの会や、先生の話も全部英語だったらどうしようと不安な気持ちもありました。

しかし、実際はそうではなく、クラスメイトの英語力はバラバラで、全員がペラペラに喋れるなんてことはありません。もちろん、英語の授業のときは基本的に英語で自分の考えを伝えたり、話し合うことが多いですが難しい単語や、文が詰まってしまうとみんな優しく「うんうん」と頷いたり、助け合って協力しながら

互いの英語力を高めあっています。

本校のグローバル科は普通科やほかの学校と異なりクラスが3年間変わりません。同じクラスメイトと3年間過ごすこととなります。私はみんなと過ごし始めて5ヶ月しか過ぎていませんが本当にこの仲間達に出会えてよかったと心から感じています。ただのクラスメイトではなく、同じ”英語が好き””グローバルなことに興味がある”という共

通点、志を持った仲間たちが集まったクラスだからこそ、通じ合えるものがあると信じています。グローバル科での思い出は一生素敵なものとして刻まれると思います。

本校は普通科や、特進クラスでも英語に力を入れていますが、特にグローバル科では他の学校、クラスでは出来ないような高いレベルの英語の授業や、手厚い

先生方のサポートを受けれたり、素敵な仲間に出会えたりすると思います。

今、自分の英語力に自信がなくても”英語が好き”という気持ちがあれば、3年間で必ず英語力は伸びます。少しでも興味があればぜひ本校グローバル科と一緒に勉強しましょう！



ここがポイント

3年間同じクラスなので、助け合って協力しながら互いの英語力を高めあえる。

他校では経験できないユニークな活動や、先生方の手厚いサポートが受けられる。

グローバル科を志望した理由 Q&A

Cocoro Yasuda

安田こころさん（1年生）

静岡市立西奈中学校出身 演劇部



Q グローバル科を志望した理由は？

英語が得意だった。海外研修が楽しそうだった。2年から中国語かフランス語を学べるから。

Q 中学時代、進路をどう考えていましたか？

中学の時は英語が好きで、1番の得意教科だったし、海外への興味があったので、英語教育に力を入れている学校に行きたいと考えていました。それを先生に伝えたら、本校のグローバル科を勧められ、中1のころから第一志望校でした。

Q グローバル科に期待してことは何ですか？

海外研修のホームステイに最も期待していました。生まれてから一度も海外に行ったことがなかったし、オーストラリアやホームステイに小さい頃から憧れがあったので期待が大きかったです。

Q グローバル科にはどんな人がいますか？

一人ひとりの個性が豊かなところ、アクティブな人が多いところ、学校内外で様々な活動をしている人が多いところが大きな魅力だと思います。



Q 入学してからのグローバル科に対するイメージの変化はありましたか？

中学生のとき、公開授業に参加し、授業風景を見たときは英語の授業がAll Englishで難しそうだなと思いました。でも実際の授業ではわからないところを教えてくれるし、英語が上手にできる人でできない人も、みんなで成長していける環境だなと思いました。授業がとっても楽しいです！！

Q 本校グローバル科と普通科、または他校で迷っている生徒へのアドバイスは？

「英語が好き、学びたい」「普通ではない、スペシャルな体験をしてみたい」「海外に興味がある」という人にとってグローバル科はとっても楽しいところですよ！



グローバル科ってこんなところ

ITO Erika

伊藤愛里華さん（2年生）

富士市立岳陽中学校出身 演劇部



グローバル科では、普通科や他校より海外に触れる機会が圧倒的に多いと感じます。グローバル科の英語の授業は一步先に進んだ学習をしており、相手と英語で討論したり、みんなの前でプレゼンをすることが多く、テーマも豊富で模擬国連を行ったり海外の文化を紹介したりと様々です。

最初の頃はもちろん大変でしたが、慣れてくるにつれ相手にわかりやすい話し方ができるようになり、ふだんの生活でもハキハキ話せるようになりました。

またスーパーで困っていた外国人の方に話しかけられたときも、プレゼンなどでの経験を活かして話せたことがうれしかった経験です。

私は、静岡城北高校に入学するまで、ただ英語の授業が多いだけなのかなと思っていました。しかし、授業を受けてみると英語を学ぶだけでなく、国際情勢について学んだりSDGsを深掘りしたりと国際関係についても学んでいます。また、2年生になると数学を選択しない人は第2外国語として中国語かフランス語を学べたりします。英語に関しても、先生方は自分が納得するまで熱心に教えてくださいます。

皆さんの中には英語が得意ではないから入れないのではないかという方もいるのではないのでしょうか。グローバル科には英語が得意な人もいますが、私のように苦手な人もたくさんいます。ここでは切磋琢磨していける環境があります。クラスの様子を1年生の時と比べると、みんな英語が上手になっていると感じます。海外に興味がある人、洋楽や洋画が好きな人、英語を苦手から得意にしたい人大歓迎です！人生の中の“青春”を静岡城北高校グローバル科で過ごしてみませんか？

ここがポイント

本校普通科や他校よりも圧倒的に英語に触れる機会が多い。英語を苦手から得意にしたい人大歓迎。英語を学ぶだけでなく、国際情勢を学んだり、SDGsを深掘りしたり、探究が盛ん。



グローバル社会見学
デルタ航空



英語のお仕事見本市
ツアーコンダクター



私たちにできること
ウクライナ応援 折り鶴

グローバル科は、普通科や他校では経験できないことばかり！

TANI Yumo

谷 有栞さん（2年生）
藤枝市立高洲中学校 煎茶部



グローバル科に入ってまず感じたのが、ネイティブの先生との授業が多いことです。英語は好きですが、リスニングが不得意な私は先生が話す英語が全く聞き取れませんでした。しかし、英語がいつも身近にある環境にいるので時間が経つごとに単語が聞き取れるようになり、分かる単語から話していることを推測することができるようになってきました。初めて聞き取れたり意味が分かったりするとうれしかったです。

2年生になって感じているのは"プレゼン力"が格段に上がったということです。この"プレゼン力"というのが普通科や他校では経験できない、グローバル科の最大の強みだと思います。

中学のときの英語の発表はただ英語を読むだけでしたが、グローバル科では英語でプレゼンをする機会がとて多く、英語+聞き手を惹きつけるプレゼンの仕方を学ぶことができます。もちろん最初は緊張と不安で声も小さくて相手に伝わらないプレゼンでしたが、何度もプレゼンの授業があるので段々慣れていき、プレゼンのたびに次はもっとこうすれば良いプレゼンができるな、失敗して

も次に生かせばいいとポジティブに物事を捉えられるようになり、自分に自信もつきました。ポジティブ思考でいること、これは今の私の生活にも生かされています。

海外との交流がたくさんできることもグローバル科の魅力です。授業内で外国人の先生から外国の文化を学んだり、英語を武器に外国で働いている日本人の方や日本に住んでいる外国人の方のお話を聞いたり、実際に英語で台湾やモーリシャスの生徒と交流したり、日本語でタイの生徒と交流したりします。世界の文化に触れ、日本と比較したり、同世代の外国人と話せることは貴重な経験だし、とても楽しいです。これらの経験は普通科や他校では絶対経験できないことだと思います。

最後に、普通科や他校とグローバル科で迷っている中学生のみなさんへ。内気・人見知りを克服したい、英語が好き、英語をたくさん話す環境にいたい、外国の文化に興味がある、国際交流してみたい、人前で自信を持って話せるようになりたい、グローバルな人材になりたい、どれかひとつでも当てはまったら絶対にグローバル科へ来るべきです！



2日間のウィンターセミナー
英語で動画撮影に挑戦！

ここがポイント

プレゼン力が格段に上がる！これは普通科や他校では経験できないグローバル科の最大の強み。

豊富な国際交流の機会がある。



オーストラリア語学研修

の姿勢の2つであると思います。

グローバル科で学ぶことにより、毎日英語に触れ英語力の向上が期待できるのみならず、授業や行事（サマーセミナー、オーストラリア研修）を通じて他の国の文化に触

卒業生からのメッセージ

KAWANA Hinako

川名陽奈子さん（平成30年度卒）
静岡市立中島中学校出身
在学中はバレーボール部

れる機会も多くあり、多文化共生社会で生きていく中で必要な異文化理解の土台を形成することができます。

また、外国にルーツを持つ生徒や、元々外国の文化に強い興味を持つ生徒もいるため、共に学ぶ仲間から学ぶことも多くあります。

静岡県立大学国際関係学部（4年生）

私は現在大学4年生で、大学では国際関係を専攻しています。

国際科（現：グローバル科）の3年間で得た知識と経験は、大学でのより深い学びの基盤となっただけでなく、これからの人生においても活かしていくことができると考えます。

グローバル化が進み、今や日本は多くの外国のヒトやモノで溢れています。海外進出を果たす企業も増加し、外国人と仕事をしたりコミュニケーションを取ったりする機会も増え、多くの企業は高い英語力を持つ人材を求めようになりました。

しかし、単に英語が使えるだけでは、外国人と心を通わせてコミュニケーションをとることは難しいです。英語力にプラスして必要なものは何か。私は、他の国の文化を理解し受容する異文化理解と、様々な国籍の人が共に対等に生活する多文化共生



教育実習で母校の教壇に立つ陽奈子さん

授業の中で英語を使う機会も多くあり、初めはうまくいかなくても徐々に英語を話すことにためらいがなくなり、卒業する頃には英語で自己表現することを厭わなくなる人がほとんどです。

グローバル科では、将来国の垣根を超えて活躍するための力を身に付けることができるのです。これはグローバル科のアイデンティティであると自信を持って言えます。

ここがポイント

授業や行事を通して、他国の文化に触れる機会も多くあり、多文化共生社会で生きていく中で必要な異文化理解の土台を形成することができます。

卒業生からのメッセージ

KANO Akane

加納 茜さん（令和元年度卒）

静岡市立長田南中学校出身

在学中は華道部、生徒会本部役員

上智大学総合グローバル学部（3年生）

国際科での学びがなければ今の自分はいない。振り返れば、そう思える原点のような日々でした。オーストラリアでホームステイを経験する。英語でさまざまな地域のことを理解し、人前で伝える。英語を使ったディベートでグローバル課題の複雑さを痛感する。偉人のスピーチから生き方のエッセンスを得る…。普通科と比べて多い英語の授業では、英語を学ぶだけでなく、英語を使って人に伝えたり考えたりする経験を積みました。英語力以上に、「自分をどう表現し、他者のことを知ろうとするか」という姿勢が重要であることを学び、いまでも大切にしています。

国際科で「知って伝える」というアウトプットの



大学では、日本で暮らす外国人の ↑ → 支援に取り組んでいます。

機会に恵まれ、私はグローバルな問題に興味を持つようになりました。大学では、国際社会学の観点から移民・難民が抱える問題について学んでいます。国境を越える個人のライフストーリーから移民政策の問題点まで、複眼的に研究しています。併せて、ここ日本に暮らしたいと願いながらも在留資格を失った難民・移民の当事者支援に取り組んでいます。

国際科で培った対話力は、いま多様なバックグラウンドを持つ人々と協働することに生きていま

す。そして今後、私はジャーナリズムの道に進みたいと考えています。

最後に、グローバル科を選択肢に入れている中学生の方へ。グローバル科では、人前で話したり多様な人と会話したりとチャレンジする機会が豊富です。必ず今後の糧になると思います。3年間同じクラスメイトは励まし合える仲間となり、先生方もいつも寄り添ってくださいます。英語が好き

な人も苦手な人も、「話せるになりたい」という意志さえあれば大丈夫です。意志あるところに道は開けます。



英語だけじゃない静岡城北のグローバル科

グローバルな視点で静岡の*グローバル課題を解決し、静岡の魅力を発信します。
地域の現状とグローバルが進む県内産業界を探求し、そこで得た知識を英語で発信します。
県内で暮らす外国出身の方々や海外に顧客を持つ県内で働く方々から話を伺います。
グローバル化によって生じる静岡の課題に気づき、その解決方法を考え、実際に行動します。
グローバル課題解決に必要なグローバルな視野と確かな英語力を身につけます。
海外研修や外国人との交流活動を企画し、生徒が英語を使って意思伝達する機会を増やします。
*グローバル…《global（地球規模の）と local（地域的な）を合わせた語》地域性を考慮しながら、地球規模の視点で考え、行動すること。(デジタル大辞泉)

グローバル科 高校入試情報

募集定員 40人(令和4年度) (募集定員は例年11月初旬に発表されます)

過去の志願倍率(志願変更後) 県教育委員会発表

令和4年度 1.00倍(40人) 令和3年度 1.03倍(41人) 令和2年度 0.88倍(35人)

主な特色(公立高校を目指すあなたへ2から抜粋)

学校裁量枠

- ・対象は希望者、選抜割合は募集定員の20%程度
- ・社会の課題解決に向け行動する意欲・能力・実績(日本語での討論及び英語での質問)を審査

傾斜配点

- ・学力検査のうち国語、社会、英語の結果を1.3倍します。

併願

- ・普通科とグローバル科を併願できます。

入試情報(詳細は学校ホームページで確認してください。)

- ・11/5 授業公開 12/6~9 個別相談会 学校ホームページ、公式Instagram・YouTube 随時更新

グローバル科(国際科)の主な行事 令和3~4年度

英語の仕事見本市(静岡でグローバルに活躍している職業人の講話)

グローバル研修(外国人が訪れる清水港、静岡空港の施設見学、外国人客誘致についての講話)

オンライン社会見学(羽田空港のデルタ航空を疑似訪問、航空業界の仕事やSDGsの取組を研修)

静岡市オリ・バラホストタウン交流(モーリシャスの生徒とのオンライン交流)

台湾との交流(台湾高雄市新莊高級中学との交流)

グローバル科講演会(英語朗読家の青谷優子氏を招き、英語の音読の技術向上研修)

サマーセミナー(県内のALTを招き3日間の英語研修 ウインターセミナーも実施)

エンパワメントプログラム(外国人講師による近隣の他校の高校生との合同研修)

モンゴルとの交流(ランドセルを寄贈、モンゴルの中高生とのSDGsについての交流研修)

静岡ガイドツアー(外国人観光客に静岡の名所を案内し、静岡の魅力を英語で伝える2日間)

海外語学研修(オーストラリアへの15日間の語学研修 国内ブリティッシュヒルズでの代替研修)

国際科卒業生大学合格実績 (過去3年間) *国際科はグローバル科の前身

国公立大学

静岡大学 静岡県立大学 静岡文化芸術大学 北海道教育大学 神奈川県立保健福祉大学 横浜市立大学
都留文科大学 千葉大学 群馬県立女子大学 広島市立大学 山口県立大学 釧路公立大学

私立大学

上智大学 明治大学 青山学院大学 立教大学 法政大学 中央大学 学習院大学 津田塾大学
南山大学 同志社大学 立命館大学 関西学院大学 獨協大学 明治学院大学 成城大学 成蹊大学
関西外国語大学 名古屋外国語大学 立命館アジア太平洋大学 日本大学 常葉大学 等

実用英語技能検定 (英検) 取得状況

卒業までにほぼ全員が英検2級を取得し、準1級も10人程度が取得しています。

※英検2級…高校卒業程度、英検準1級…大学中級程度

英検2級を国際的基準CEFRレベルで算出するとA2からB1に位置付けられ、高校3年生で同レベルの力を有する生徒は14.9%であることから、本校グローバル科生徒の英語力の高さがわかります。(令和3年度公立高等学校における英語教育実施状況調査)

グローバル科の特色ある学び (普通科とのちがい)

学校設定教科「国際理解」

- フランス語・中国語…フランス・中国の文化と言葉に興味を持ち、簡単な日常会話を学ぶ
- 国際社会…国際社会や国際問題に関心を持ち、国際社会において日本のあるべき姿を考える
- コミュニケーション…異なる文化を持つ人と積極的にコミュニケーションを図る力をつける
- 時事英語…海外のニュースを英語で読み、世界情勢について理解を深め、自分の考えを発信する
- グローバル情報社会…プレゼン資料の作成や、スライドを用いた英語でのプレゼン方法も学ぶ
- 映像で伝える世界…自分たちで映像を作成し、インターネット等を介して世界に発信する
- 海外異文化体験…オーストラリアへの語学研修

専門教科「英語」

- エッセイライティング…日常的や社会的な話題について「書くこと」を中心に学ぶ
- ディベート・ディスカッション…日常的や社会的な話題について、賛成・反対の立場で議論する

グローバル課題探究

- グローバル課題を探究的に学習し、考えた解決策を行動に移すプロジェクト学習

コロナに負けるな

コロナ禍でもオンライン交流、国内での代替研修等の充実した活動を行っています。

静岡
城北

GLOBAL COURSE

Shizuoka Johoku Senior High School

1年生に聞く
グローバル科を選んだ理由

2年生が語る
普通科では学べないこと

卒業生のアドバイス
英語力にプラスして必要なもの

Glocal = Global + Local

静岡のグローバル課題を解決

資格と進路

英検取得状況、大学合格実績

特色ある学び

フランス・中国語、映像で伝える世界

グローバルな交流

オーストラリア、モンゴル、モーリシャス…

グローバル科

高校入試情報 学校裁量枠・傾斜配点

グローバル科を語る。